JAPAN TRANSPORT SERVICE WORKER'S UNIONS
日本輸送サービス労働組合連合会
HOMEPAGE TWITTER
JTSU NEWS
2026,11,4
NO.031
QRコードは、株式会社デンソーウェーブの登録商標です

JR MECHATRONICS SERVICE WORKER'S UNION
JRメカトロサービス労組

申2号

10月31日「2026年度冬季手当に関する申し入れ」を行いました

「社員が安心して働ける環境づくり」と「社員家族の幸福の実現」を具現化し、次なるステージへの原動力とするためにも、冬季手当において組合員の労働価値の正しい評価を強く求める！

JRメカトロサービス労働組合は、「JR-MS 経営ビジョン 2027」の達成、および日々の安全・安定輸送を堅持するため、現場における技術力と品質の向上に邁進してきました。その成果は、2025年度決算の大幅な増収増益に続き、先般発表された2026年度第2四半期決算においても、東京支店での改札機老朽取換竣工（売上高8億3，500万円）、大宮支店での改札機および ICM 組立・修繕単価アップ（売上高6億5，700万円）、仙台支店での修繕工事の受注件数増（売上高2億6，700万円）など各部門が牽引し、売上高18億200万円（前年同期15億6，100万円）、営業利益1億4，200万円（前年同期3，000万円）と**対前年同期比で大幅な増収増益を達成**しています。

これは、輻輳する業務の中で責任を果たし続けてきた組合員・従業員一人ひとりの努力の結晶です。**夏季手当の団体交渉において「賞与の支給額は算定期間の業績を中心に決定するもの」という労使間の認識の一致を図ることができたことからも、この確かな業績は現場で働く社員へ正当に還元されなければなりません。**

また、2026年度においても高い事業目標が掲げられていますが、現場では依然として要員逼迫が続いており、組合員およびその家族にかかる負担は極めて大きい状態にあります。このような状況下で**安全・品質を維持し続けるためには、社員の心身の健康と、それに見合う正当な処遇が不可欠**です。さらに、総務省統計局の発表では、**全国消費者物価指数（CPI）は依然として上昇・高止まりを続けており、組合員・従業員の生活費負担は引き続き重い状況**です。これらを総合的に勘案すれば、物価高騰を上回る支給水準の引き上げは十分に可能であり、かつ必要な措置です。

「社員が安心して働ける環境づくり」と「社員家族の幸福の実現」を具現化し、次なるステージへの原動力とするためにも、冬季手当において組合員の労働価値を正しく評価し、以下の通り回答するよう強く申し入れを行いました。

【 要 求 内 容 】

1. 2026年度冬季手当については、組合員の多大な貢献に対する適正な利益還元と、新たな施策等に対するモチベーション向上のため、賃金規程に基づく基準内賃金の3．5ヶ月＋10万円を支給すること。
2. 冬季手当の支給が決定したのち、速やかに冬季手当支給対象人数、支給対象者平均年齢、および平均支給額を開示すること。
3. 本要求に対する回答については団体交渉を経て決定するものとし、速やかに交渉の日時を調整すること。
4. 支払い指定日は、2026年12月4日までとすること。



ＪＲメカトロサービス労働組合は、団体交渉を通じて要求実現に向けて精力的に取り組みます！

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

JTSU は持続可能な開発目標（SDGs）を応援しています。